

2026 年 8 月 25 日

金融庁「生成 AI を活用した地域金融機関における DX 化に向けた実証研究事業」 コンソーシアムへの参画について

めぶきフィナンシャルグループの常陽銀行（頭取 秋野 哲也）と足利銀行（頭取 清水 和幸）は、このたび、金融庁が企画し、一般社団法人金融データ活用推進協会（以下、FDUA）などが推進する「生成 AI を活用した地域金融機関における DX 化に向けた実証研究事業」に参画しますので、下記のとおりお知らせいたします。

本コンソーシアムへの参画を通じて、AI エージェントの有用性と安全性を検証するとともに、業務効率化および地域のお客さまの DX 支援に生かしてまいります。

※本事業の概要は、FDUA のニュースリリースをご参照ください。

【FDUA ニュースリリース】

2026 年 7 月 24 日 [金融庁「生成 AI を活用した地域金融機関における DX 化に向けた実証研究事業」参加金融機関等選定結果のお知らせ](#)

記

1. 背景と狙い

金融業務における生成 AI の活用は、単なるテキスト生成の段階から、複雑な業務プロセスを自律的に判断し、実行する「AI エージェント」の活用段階へと移行しつつあります。特に高度なセキュリティの確保や業務特化型のデータ連携手法において、金融庁の企画のもと、他の金融機関や専門機関と共同で検証を行うことで、安全で実効性の高い現場実装に向けた道筋を構築します。

2. 参画ワーキンググループと主な検証内容

銀行名	参画ワーキンググループ (WG)	主な検証内容
常陽銀行	顧客照会対応 WG	AI エージェントによる規定や FAQ などと連携した問い合わせへの自動応答機能および行員支援機能の検証
足利銀行	事業性評価 WG	AI エージェントによる財務・非財務データの集約・分析から、事業性評価や提案書作成までの自動化支援機能の検証

3. 今後の展開

両行は、各 WG で得られた知見や成果をグループ内で迅速に共有し、相互に活用することで、営業現場における業務の抜本的な効率化と高度化を推進します。また、グループとして培った先進的なデジタル活用のノウハウを地域企業の DX 支援にも生かし、地域全体の持続的な成長に貢献してまいります。

以 上